

6. アンケート調査結果

6. アンケート調査結果

山梨市の市民のエネルギー・環境に対する意識を把握するとともに、新エネルギービジョンへの意見の反映・新エネルギーに関する普及啓発を目的としてアンケート調査を実施しました。

6.1 調査の概要

(1) 調査時期及び方法

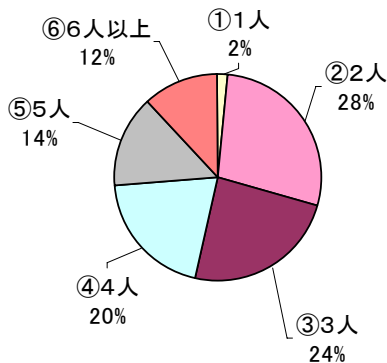
- ① 調査時期 : 平成 17 年 10 月 12 日～21 日
- ② 配布対象 : 山梨市の世帯
- ③ 配布・回収方法 : 郵送による
- ④ 配布部数 : 300 通

(2) 回収

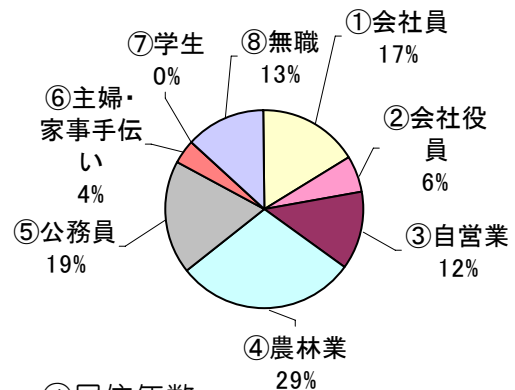
- ① 回収部数 : 180 通
- ② 回収率 : 60.0%

(3) 属性

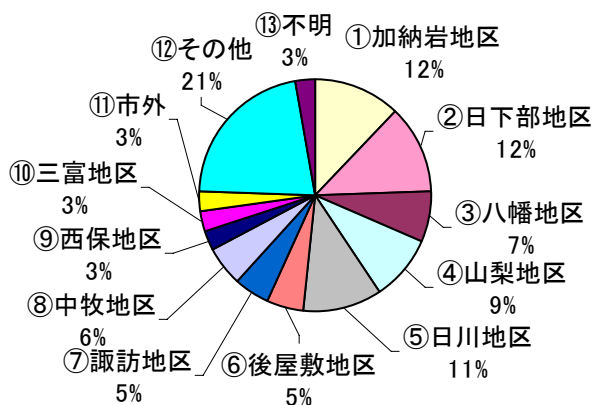
①世帯員数



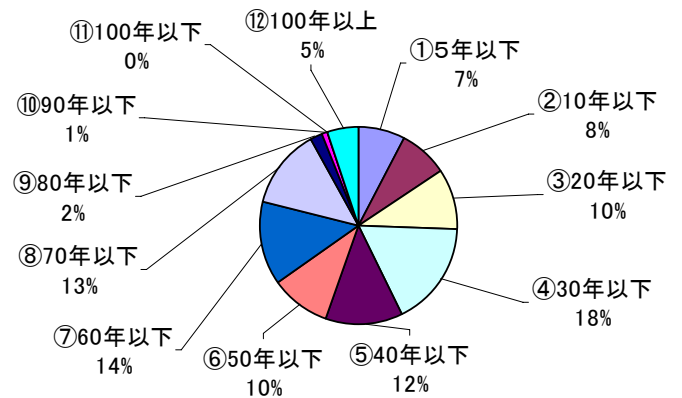
②職業



③お住まい



④居住年数



注:なお以下の 100 分率で表示しているグラフ・表では四捨五入の関係で合計が 100 とならないケースがあります。

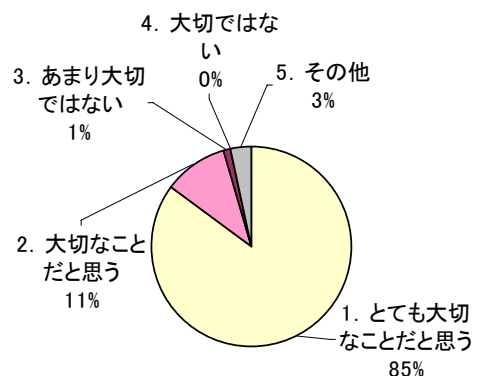
6.2 アンケート結果

Q1-1

山梨市では、この先 50 年、100 年たっても変わらぬ魅力的なまちであるよう、地球環境問題、エネルギー問題について真剣に考え、取り組もうとしています。こういった市の取組みについてどう思われますか？ 次のうち最も良くあてはまる項目 1 つを選んで○をつけて下さい。

- ・ 「とても大切なことだと思う」が153人で85%、「大切なことだと思う」が19人で11%であり、合わせて96%の人が山梨市が環境問題・エネルギー問題に取り組むことを大切だと考えています

回答項目	回答数	%
1. とても大切なことだと思う	153	85.0
2. 大切なことだと思う	19	10.6
3. あまり大切ではない	2	1.1
4. 大切ではない	0	0.0
5. その他	6	3.3
(無回答・その他)	0	0.0
合計	180	100



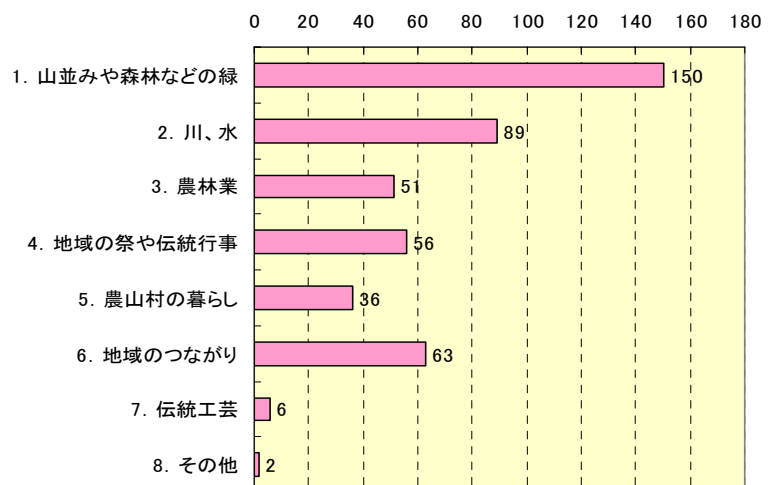
Q1-2

あなたがお考えの「山梨市の良い点」についてお聞かせ下さい。次のうちあてはまるものに○をつけて下さい。(いくつでも)

- ・ 山梨市の良い点について、「山並みや森林などの緑」を選んだ人が150名で最も多く、ついで「川、水」の89名、「地域のつながり」63名となっています。
- ・ 地域の自然と社会の良さを感じている人が多くなっています。

【その他】

- ・ 果樹栽培を主とした産業
- ・ 資源があるのに失われつつある
- ・ 自然



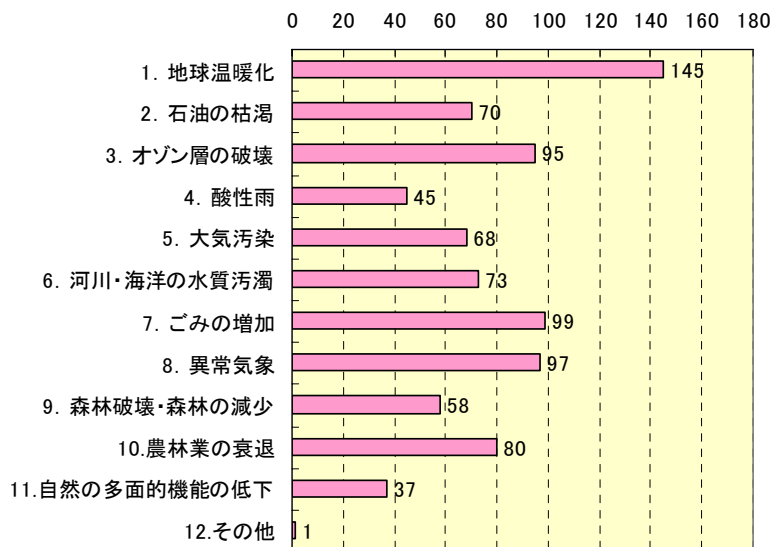
Q1-3

様々な地球環境問題が発生しています。次に挙げた地球環境問題のうち、あなたが心配と思われる項目に○をつけてください。(いくつでも)

- 地球環境問題の中で心配なものについては、「地球温暖化」が145人で最も多くなっています。以下、「ごみの増加」99人、「異常気象」97人、「オゾン層の破壊」95人までが半数以上が心配と回答していました。
- 「農林業の衰退」についても80人と多くの方が心配であると感じています。

【その他】

- 農林業に携わる人の減少
- 動植物の絶滅種族の多いこと

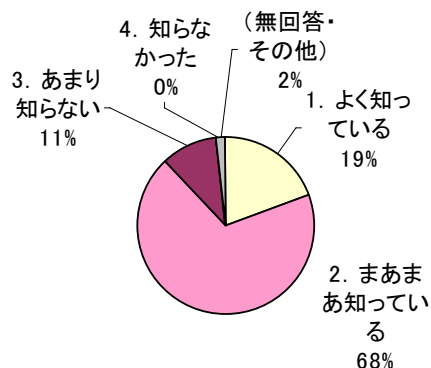


Q2-1

「地球温暖化」の原因やその影響についてどれくらいご存知ですか。次のうち、最もよくあてはまる項目1つに○をつけて下さい。

- 地球温暖化の原因については「よく知っている」が35人で19%、「まあまあ知っている」が123人で68%で、合計で87%の人が地球温暖化の原因や影響について把握しています。
- 反対に、「あまり知らない」は19人で11%、「知らなかった」が0人であり、地球温暖化についての認識は高いことがわかります。

回答項目	回答数	%
1. よく知っている	35	19.4
2. まあまあ知っている	123	68.3
3. あまり知らない	19	10.6
4. 知らなかった	0	0.0
(無回答・その他)	3	1.7
	180	100

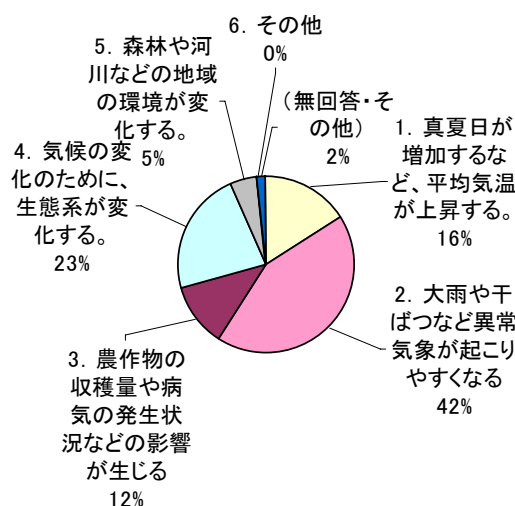


Q2-2

地球温暖化によって、さまざまな悪影響が起こると心配されています。あなたが特に心配と思われる項目1つに○をつけて下さい。

- ・ 地球温暖化の影響のうち特に心配されていることは、「大雨や干ばつなど異常気象が起こりやすくなる」で43%を占めています。
- ・ ついで「気候変化のために生態系が変化する」

回答項目	回答数	%
1. 真夏日が増加するなど、平均気温が上昇する。	29	16.1
2. 大雨や干ばつなど異常気象が起こりやすくなる	77	42.7
3. 農作物の収穫量や病気の発生状況などの影響が生じる	21	11.7
4. 気候の変化のために、生態系が変化する。	41	22.8
5. 森林や河川などの地域の環境が変化する。	9	5.0
6. その他	0	0.0
(無回答・その他)	3	1.7
	180	100

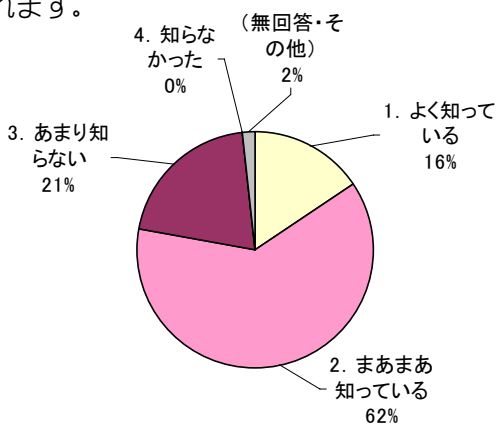


Q2-3

「エネルギー問題」の原因やその影響についてどれくらいご存知ですか。次のうち、最もよくあてはまる項目1つに○をつけて下さい。

- ・ エネルギー問題の原因や影響については「よく知っている」が28人で16%、「まあまあ知っている」が112人で62%であり、合計すると79%の人がエネルギー問題について把握しています。
- ・ 逆に、「あまり知らない」は37人(21%)であり、「知らなかった」は0人で、多くの人がエネルギー問題についても認識していることがわかります。
- ・ 地球温暖化に比べて認識度が低い傾向が見られます。

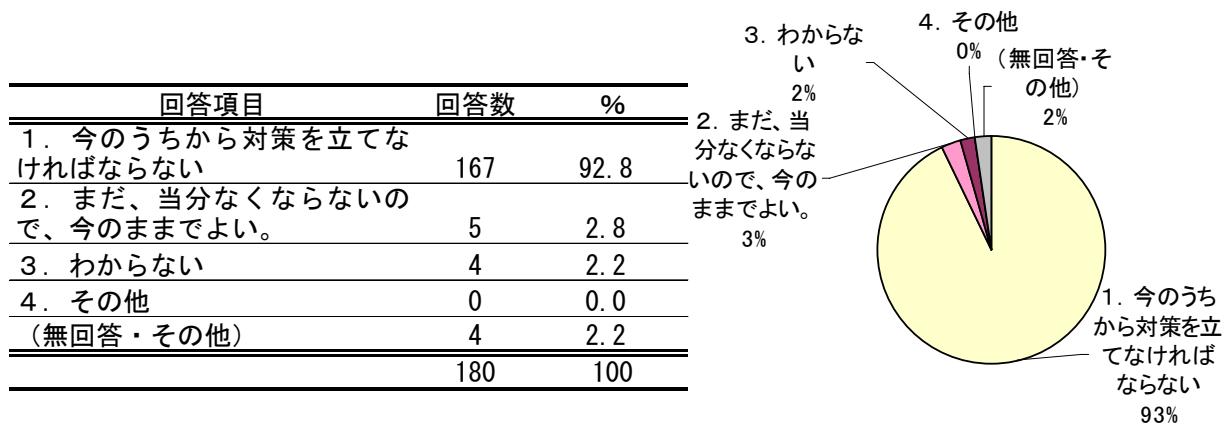
回答項目	回答数	%
1. よく知っている	28	15.6
2. まあまあ知っている	112	62.1
3. あまり知らない	37	20.6
4. 知らなかった	0	0.0
(無回答・その他)	3	1.7
	180	100



Q2-4

石油や石炭などの「化石燃料」は下図のようにいつかはなくなるものです。この「エネルギーの枯渇（なくなること）」問題に対して、次のうち、あなたのお考えに最も近い項目1つに○をつけて下さい。

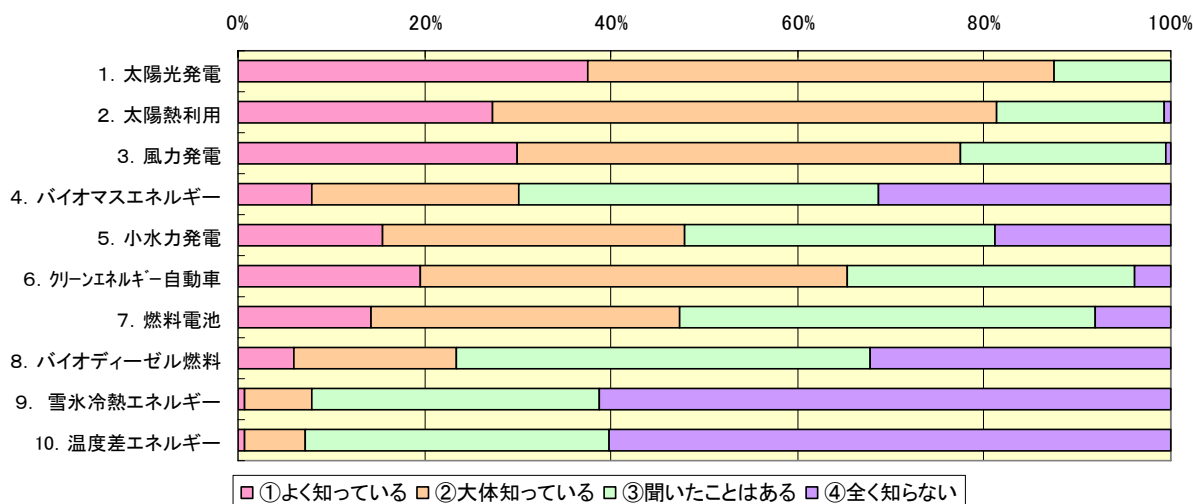
- 167人(93%)と、ほとんどの人が「今のうちから対策を立てなければならない」と回答しています。
- 多くの人がエネルギー問題に対して危機感を抱いていることがわかります。



Q3-1

以下にあげるのは、主な「新エネルギー」です。これらについてどれくらいご存知ですか。あてはまる番号1つに○をつけて下さい。

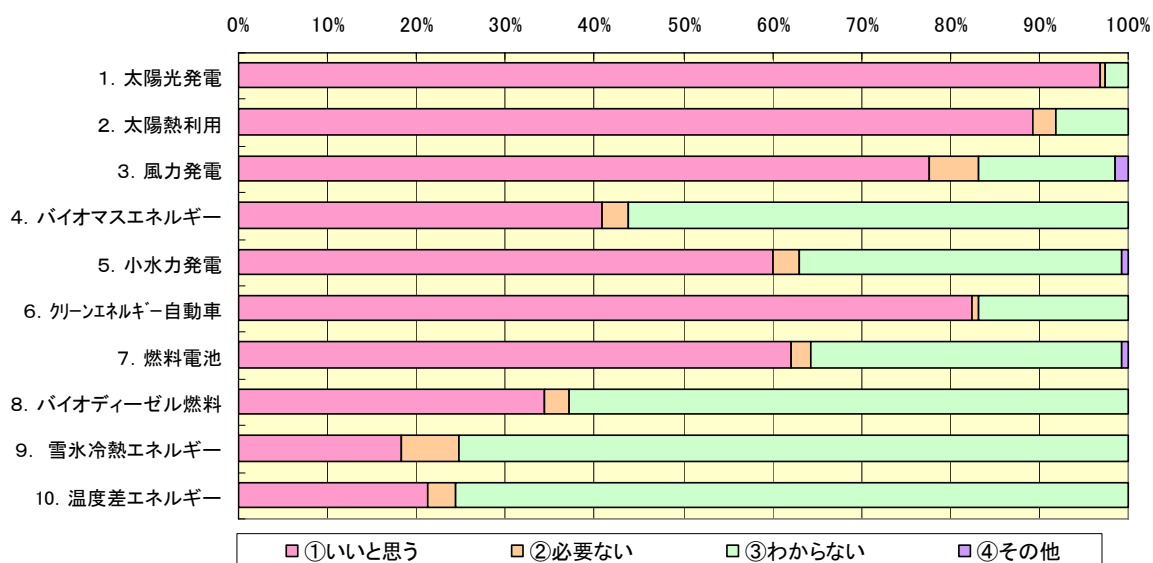
- 太陽光発電が最も広く知られており、「よく知っている」「大体知っている」を合わせると147人(82%)の人が「知っている」と回答しています。次いで太陽熱利用が同様に131人(73%)が認識しています。
- その他では、風力発電とグリーンエネルギー自動車で「知っている」と回答した人が50%以上に達しました。
- 小水力発電と燃料電池についても、ほぼ半数の人が「知っている」と回答しています。
- バイオマスエネルギーとバイオディーゼル燃料については「知っている」と回答した人は20~30%で認識はあまり高くなく、普及・啓発が必要と考えられます。



Q3-2

次に挙げる新エネルギーについて、身近にあったらいいと思われませんか？あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

- ・ 身近にあったらいいと思うエネルギーは太陽光発電が153人と最多で、次いで太陽熱利用132人、グリーンエネルギー自動車113人、風力発電111人となっています。
- ・ そのほか、小水力発電・燃料電池も割合が50%を越えています。
- ・ バイオマスエネルギーやバイオディーゼル燃料については、希望度が低くなっていますが、これは認識度が低いことも影響しているものと考えられます。

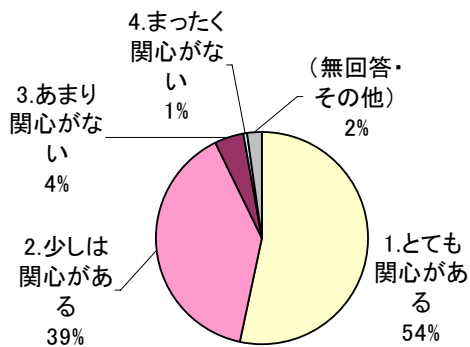


Q4-1

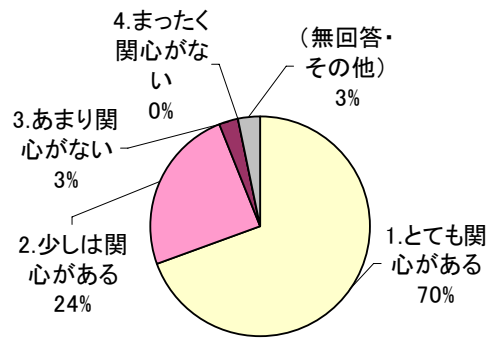
あなたの家庭では、新エネルギーや省エネルギーに関心はありますか？「①新エネルギー」「②省エネルギー」のそれぞれについて、あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

- ・ 新エネルギーについては「とても関心がある」が96人で53%、「少しは関心がある」が71人で39%と、何らかの関心を抱いている層が92%に上ります。
- ・ 省エネルギーについては同様に、93%が関心を抱いています。
- ・ 新エネルギーより省エネルギーの方に対してより関心が高い傾向が見られますが、これは家計に直結すること、認知度の差などが影響していると思われます。

回答項目	①新エネルギー		②省エネルギー	
	回答数	%	回答数	%
1. とても関心がある	96	53.3	125	69.4
2. 少しは関心がある	71	39.4	44	24.4
3. あまり関心がない	8	4.4	5	2.9
4. まったく関心がない	1	0.7	0	0.0
(無回答・その他)	4	2.2	6	3.3
合計	180	100	180	100



<新エネルギーについて>



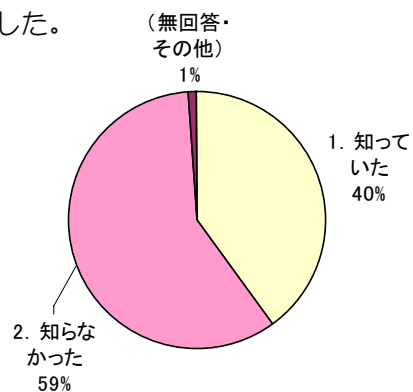
<省エネルギーについて>

Q4-2

山梨市の太陽光発電に対する補助制度のことをご存知でしたか？当てはまるもの1つに○をつけて下さい。

- ・ 太陽光発電の市の助成制度については、知っていると回答した人は40%、「知らない」と回答した人が59%と、認知度は半分以下でした。
- ・ さらなる広報活動が必要と考えられます。

回答項目	回答数	%
1. 知っていた	72	40.0
2. 知らなかった	106	58.9
(無回答・その他)	2	1.1
	180	100



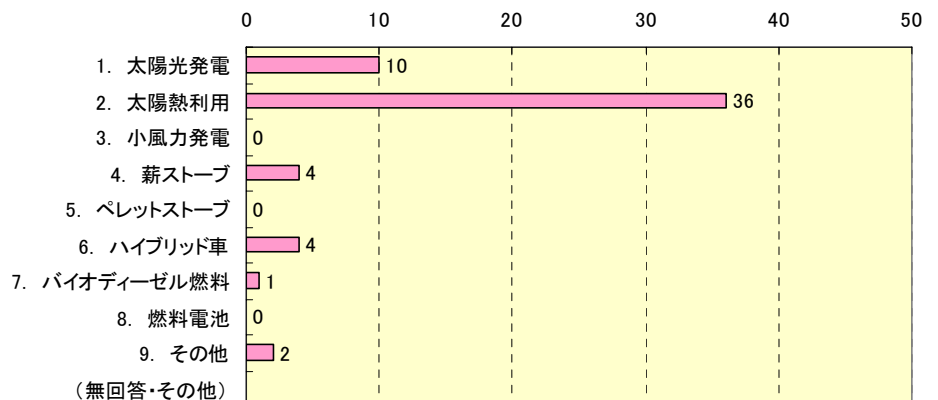
Q4-3

以下の新エネルギーの中で、「既にご家庭に導入されているもの」、「導入予定があるもの」、「導入を検討しているもの」がございましたら教えて下さい。(いくつでも)

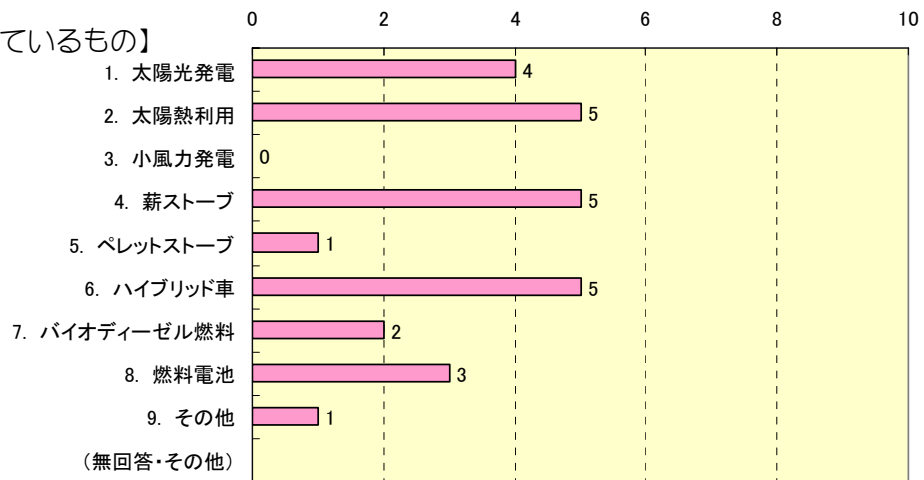
【既に導入しているもの】

(その他)

- ・ 薪・灯油兼用風呂



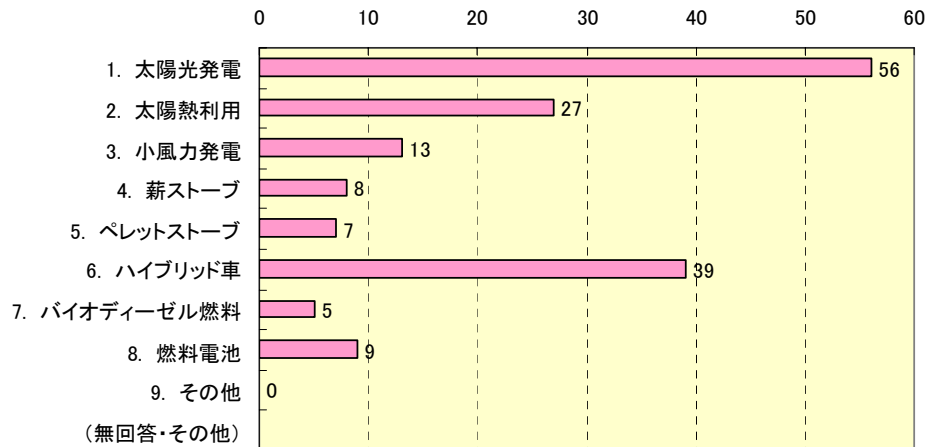
【導入を予定しているもの】



【導入を検討しているもの】

(その他)

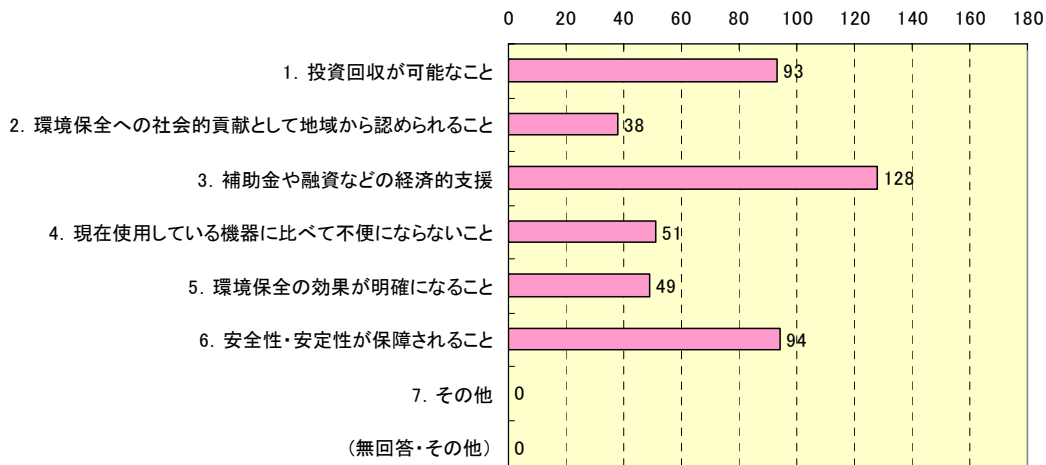
・ エコ給湯



Q4-4

今後ご自宅に新エネルギーを導入される際に、どのような条件が整うことが必要と考えますか？当てはまるものに○をつけて下さい。(いくつでも)

- ・ 新エネルギーを導入する際に必要なこととして「補助金や融資などの経済的支援」が128人(71%)と最も多くなっています。
- ・ 前出のQ4-2では山梨市の太陽光発電への助成制度を半数以上の人知らなかったことと併せて、助成制度の周知を得ることで導入が促進されると期待できます。
- ・ 次いで、「安全性・安定性が保証されること」(94人(52%))、「投資回収が可能なこと」(93人(52%))が過半数の回答となっています。

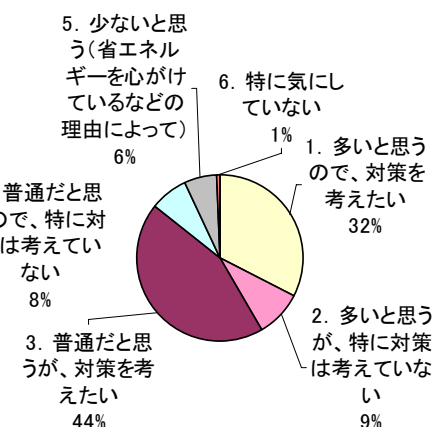


Q5-1

ご家庭でのエネルギー使用量についてどのようにお考えですか。次のうち最も良くあてはまる項目一つに○をつけてください。

- 家庭でのエネルギー消費量については、「普通だと思うが、対策を考えたい」が76人で42%と最も多く、次いで、「多いと思うので対策を考えたい」が56人で31%であり、合わせると132人(73%)の人が省エネルギー意識を持っているといえます。
- 啓発活動などにより、省エネルギーへの取り組みはさらに進むものと期待されます。

回答項目	回答数	%
1. 多いと思うので、対策を考えたい	56	31.1
2. 多いと思うが、特に対策は考えていない	16	8.9
3. 普通だと思うが、対策を考えたい	76	42.2
4. 普通だと思うので、特に対策は考えていない	13	7.2
5. 少ないと思う(省エネルギーを心がけているなどの理由によって)	11	6.1
6. 特に気にしていない	1	0.6
7. その他(無回答・その他)	0	0.0
(無回答・その他)	7	3.9
合計	180	100

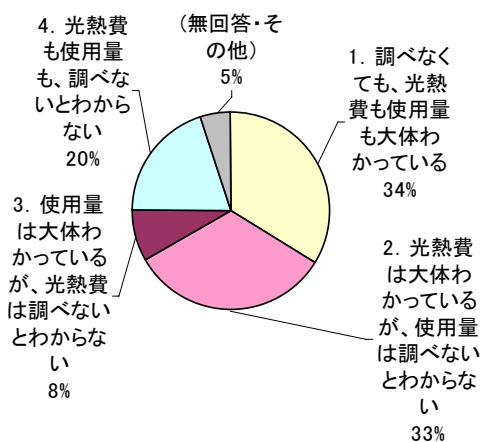


Q5-2

ご家庭での光熱費やエネルギーの使用量についてご存知ですか？ 次のうち最も良くあてはまる項目一つに○をつけてください。

- 家庭でのエネルギー消費量について、「調べなくても、光熱費も使用量も大体わかっている」人は61人で34%です。
- 概ね70%の人が光熱費は把握していますが、使用量まで把握している人は約40%となっています。

回答項目	回答数	%
1. 調べなくても、光熱費も使用量も大体わかっている	61	33.9
2. 光熱費は大体わかっているが、使用量は調べないとわからない	59	32.8
3. 使用量は大体わかっているが、光熱費は調べないとわからない	15	8.3
4. 光熱費も使用量も、調べないとわからない	36	20.0
(無回答・その他)	9	5.0
合計	180	100

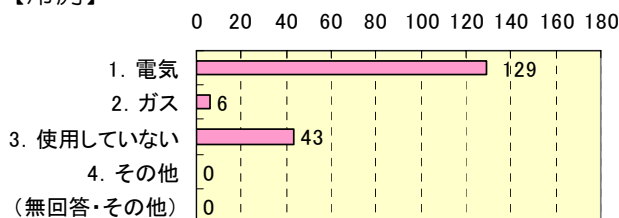


Q5-3

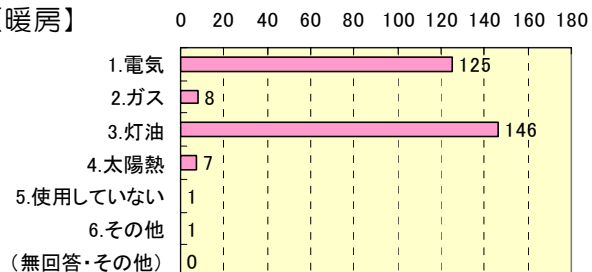
ご家庭で用途別に使用されているエネルギーについて教えてください。(いくつでも)

- ・ 冷房については「電気」が 129 人で最も多く、次いで「使用していない」43 人、「ガス」6 人となっています。
- ・ 暖房については「灯油」が 146 人で最も多く、次いで「電気」の 125 人となっています。合わせると 180 人を超えることから、併用している人も多いことがうかがえます。
- ・ そのほか、「太陽熱」利用も 7 人となっています。
- ・ 給湯・お風呂は「灯油」が 135 人で最も多く、次いで「ガス」50 人となっています。
- ・ 新エネルギーについても、「太陽熱」が 48 人(27%)、「薪」も 16 名(9%)で利用されています。その他「電気」33 人となっています。

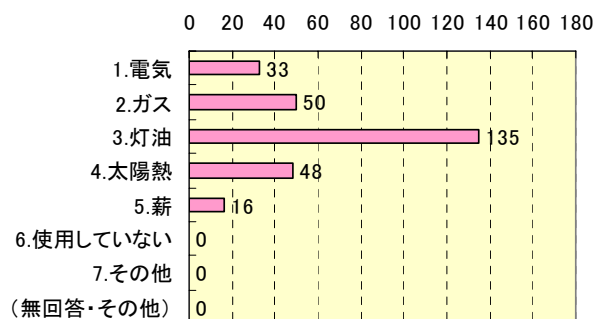
【冷房】



【暖房】



【給湯・お風呂】



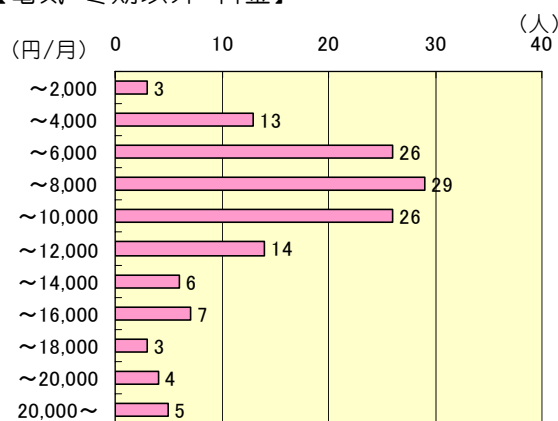
(その他)

- ・ 薪・炭
- ・ 木炭
- ・ 豆炭

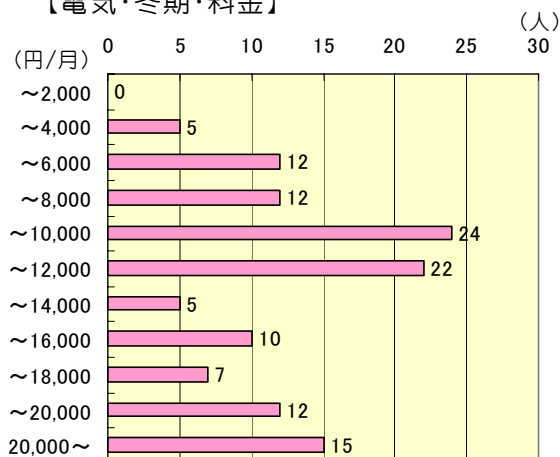
Q5-4

ご家庭で消費する電気・灯油・プロパンガスの一ヶ月の消費量について教えてください。

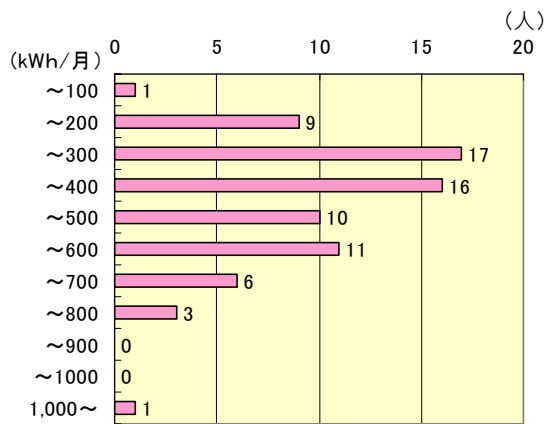
【電気・冬期以外・料金】



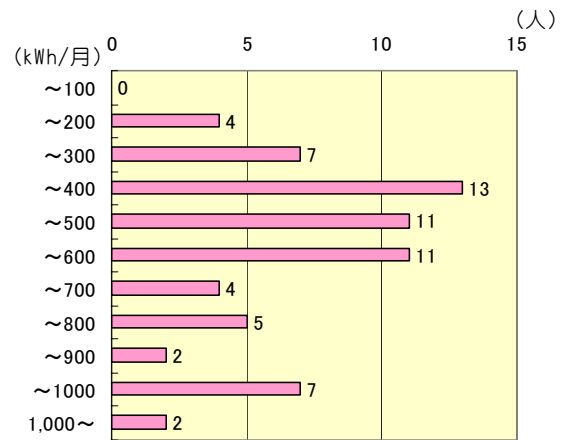
【電気・冬期・料金】



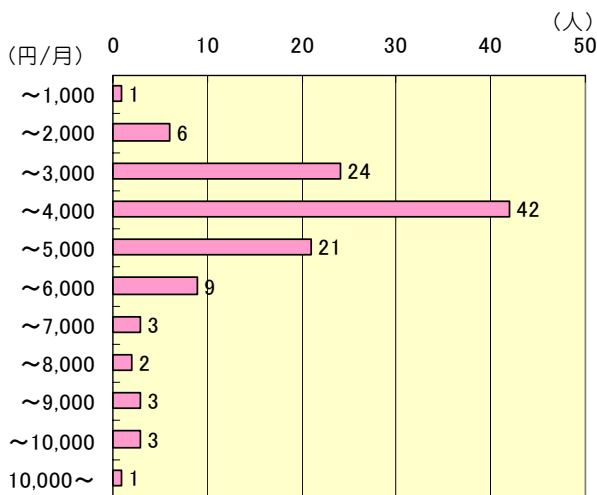
【電気・冬期以外・使用量】



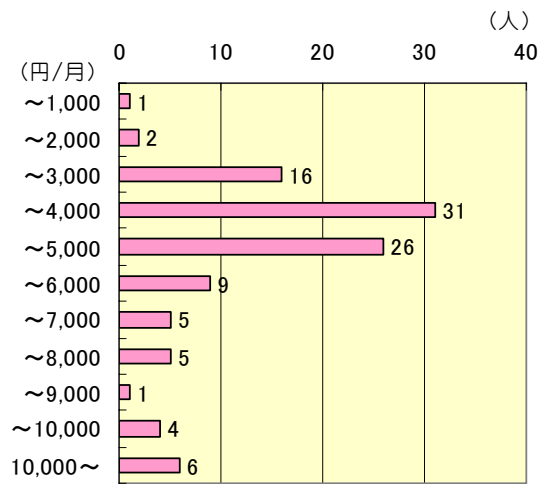
【電気・冬期・使用量】



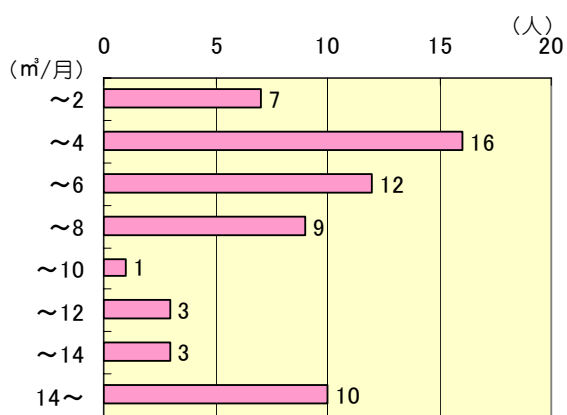
【ガス・冬期以外・料金】



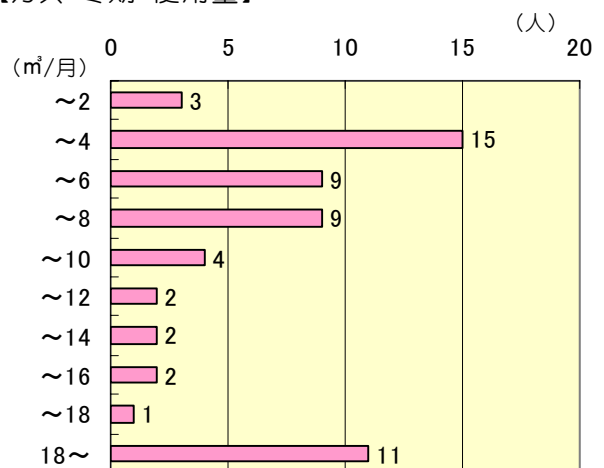
【ガス・冬期・料金】



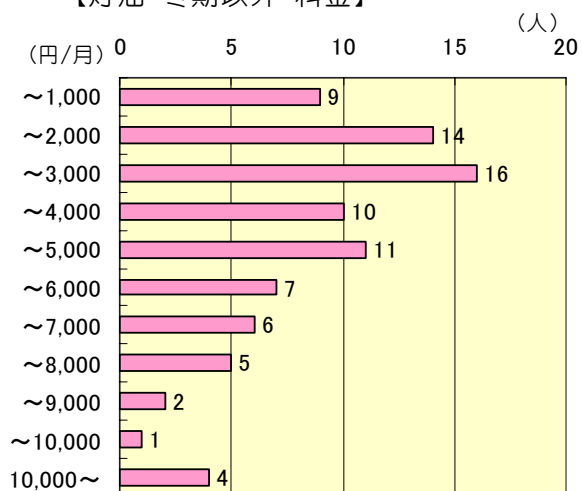
【ガス・冬期以外・使用量】



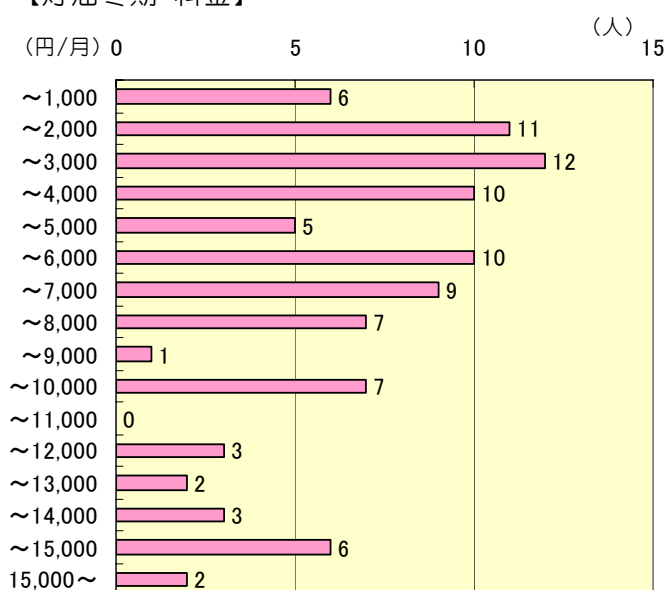
【ガス・冬期・使用量】



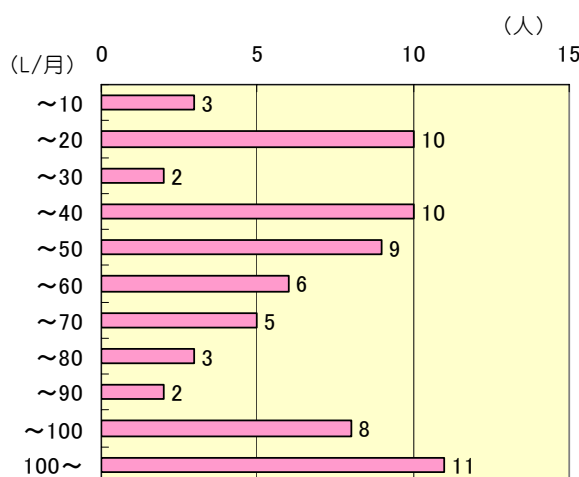
【灯油・冬期以外・料金】



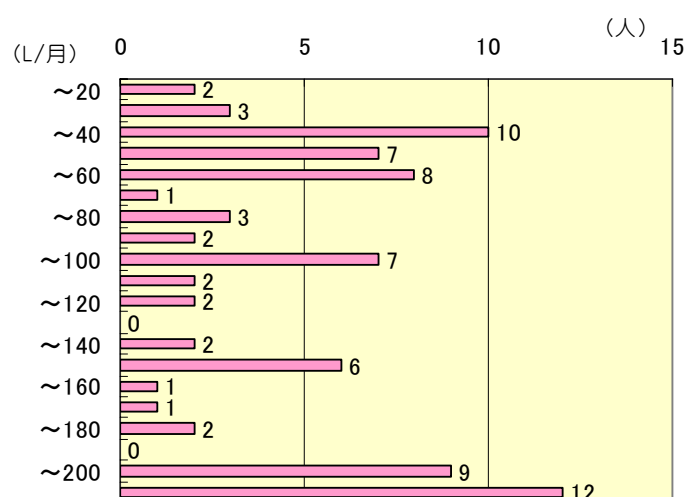
【灯油冬期・料金】



【灯油・冬期以外・使用量】



【灯油・冬期・使用量】



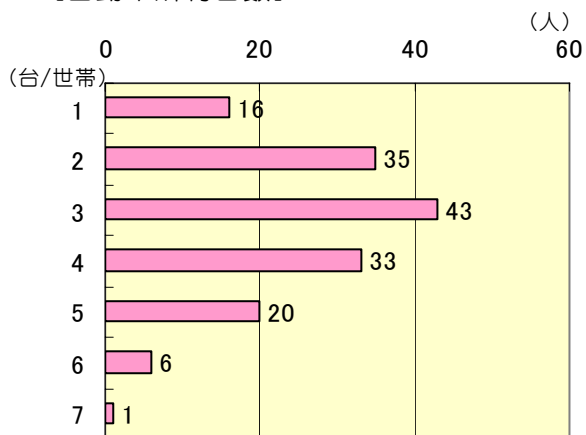
【平均値*】

エネルギー源	時期	料金	使用量
電気	冬季以外	9,140 円/月	380kWh/月
	冬季	11,580 円/月	504kWh/月
ガス	冬季以外	4,100 円/月	5.8m ³ /月
	冬季	4,560 円/月	6.9m ³ /月
灯油	冬季以外	4,000 円/月	62L/月
	冬季	6,400 円/月	109L/月

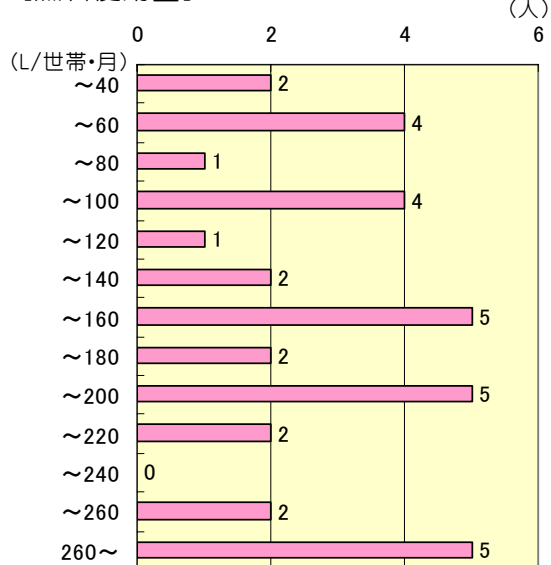
* 平均値の算出においては、上下 2 割のデータを除いた中間値を用いています。

家庭で所有している自動車と燃料消費状況

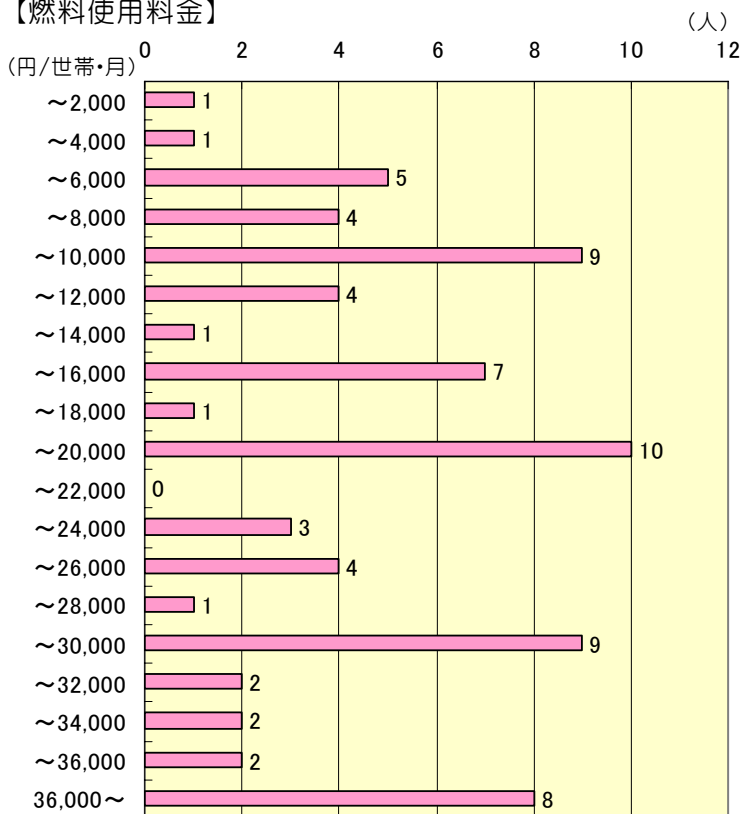
【自動車所有台数】



【燃料使用量】



【燃料使用料金】



【平均値】

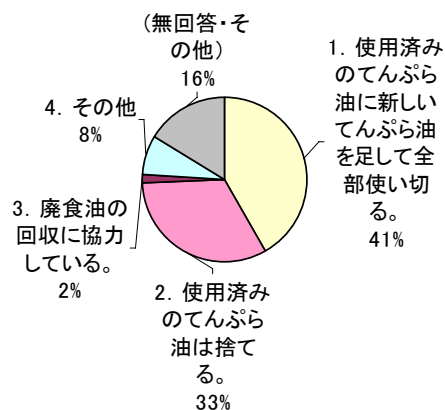
- 所有台数 : 3.2 台/世帯
- 燃料消費量 : 179L/世帯
- 使用料金 : 25,140 円/世帯

Q5-6

ご家庭で料理に使用したてんぷら油の処理についてお聞かせ下さい。(当てはまるもの一つに○をつけてください。)

- ・ 使用済みのてんぷら油の処理について、「全部使い切る」と回答した人が最も多く75人で42%でした。
- ・ 次いで「捨てる」という人が59人で33%でした。
- ・ 「廃食油の回収に協力している」のは3人(2%)でした。

回答項目	回答数	%
1. 使用済みのてんぷら油に新しいてんぷら油を足して全部使い切る。	75	41.6
2. 使用済みのてんぷら油は捨てる。	59	32.8
3. 廃食油の回収に協力している。	3	1.7
4. その他	14	7.8
(無回答・その他)	29	16.1
	180	100



(その他)

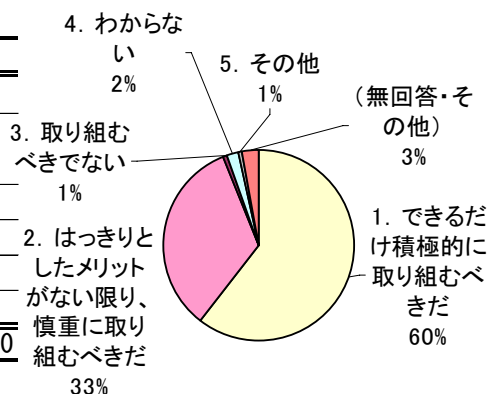
- ・ 4ヶ月に1度捨てる
- ・ 揚物はしない
- ・ 犬のえさ
- ・ 植木に捨てる
- ・ 使用していない(3人)
- ・ 捨てるほどない
- ・ 捨てる量が非常に少ない
- ・ てんぷらはしない
- ・ 布でくるむ
- ・ 煮物に使う
- ・ 残さず使用
- ・ 廃油石鹸を作る
- ・ わからない

Q6-1

今後、山梨市でどのように「新エネルギー」に取り組めばよいと思われますか？ 次のうちあなたのお考えに最も近いもの1つに○を付けて下さい。

- ・ 「できるだけ積極的に取り組むべきだ」が109人で61%と最も多い一方で、「はっきりとしたメリットがない限り、慎重に取り組むべきだ」も60人で33%でした。

回答項目	回答数	%
1. できるだけ積極的に取り組むべきだ	109	60.5
2. はっきりとしたメリットがない限り、慎重に取り組むべきだ	60	33.3
3. 取り組むべきでない	1	0.6
4. わからない	4	2.2
5. その他	1	0.6
(無回答・その他)	5	2.8
	180	100

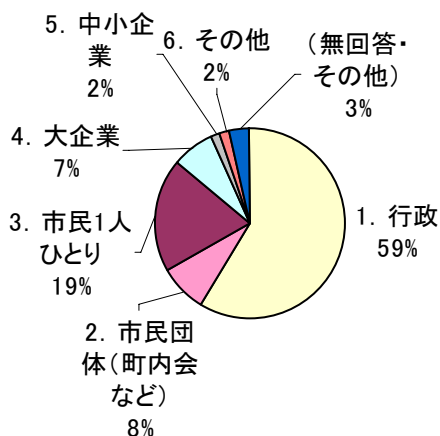


Q6-2

新エネルギーへの取り組みは、こういった主体が中心的に担うべきだと思いますか？次の中から1つ選んで○をつけて下さい。

- ・ 取り組み主体としては、「行政」主導への要望が105人(58%)と最も多くありました。
- ・ 次いで「市民1人ひとり」が35人(19%)、「市民団体(町内会など)」が15人(8%)でした。

回答項目	回答数	%
1. 行政	105	58.3
2. 市民団体(町内会など)	15	8.3
3. 市民1人ひとり	35	19.4
4. 大企業	13	7.2
5. 中小企業	3	1.7
6. その他	3	1.8
(無回答・その他)	6	3.3
	180	100

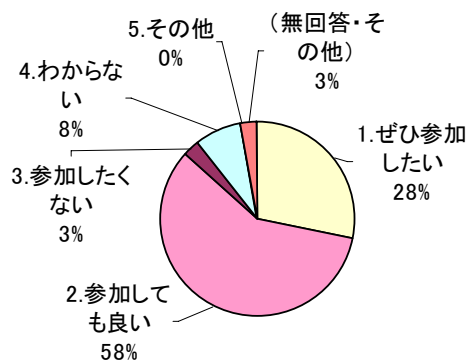


Q6-3

機会があれば、新エネルギーへの取り組みに参加したいと思いますか？次のうち最も良くあてはまる項目1つを選んで○をつけて下さい。

- ・ 「参加しても良い」が105名で58%、次いで「ぜひ参加したい」の28%でした。
- ・ 合わせて、約90%の市民が何らかの形で参加意向を持っています。

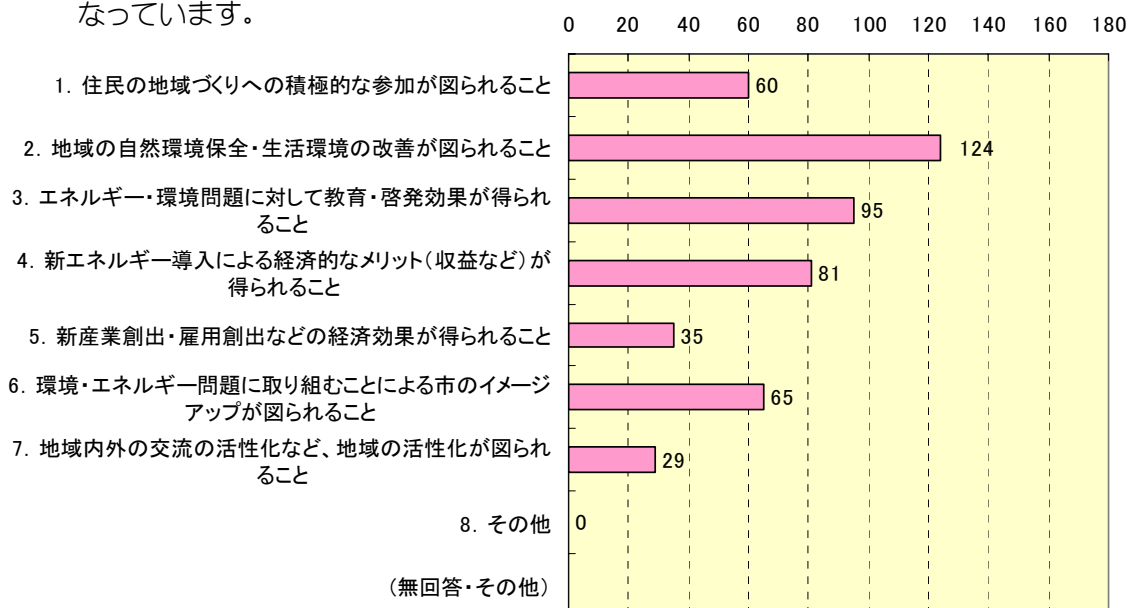
回答項目	回答数	%
1. ぜひ参加したい	51	28.3
2. 参加しても良い	105	58.3
3. 参加したくない	5	2.8
4. わからない	14	7.8
5. その他	0	0.0
(無回答・その他)	5	2.8
	180	100



Q6-4

新エネルギーの導入にどのようなことを期待しますか？次のうちあてはまるものに○をつけて下さい。(いくつでも)

- ・ 「地域の自然環境保全・生活環境の改善が図られること」が124人で最も多く、次いで「エネルギー・環境問題に対して教育・啓発効果が得られること」95人となっています。
- ・ 「新エネルギー導入による経済的なメリット(収益など)が得られること」81人、「市のイメージアップ」が65人、「住民の地域づくりへの積極的な参加」60人までが30%以上となっています。

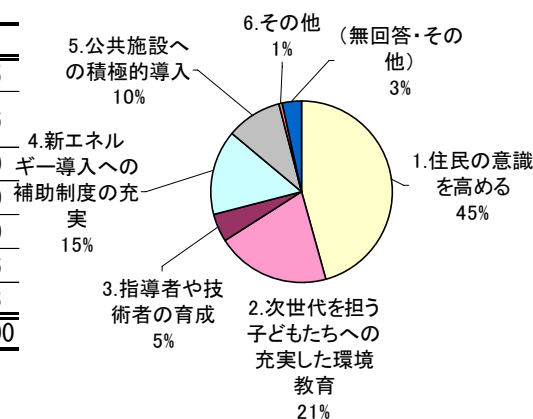


Q6-5

エネルギーを導入するうえで大切なことは何だと思えますか？次のうち最も良くあてはまる項目1つを選んで○をつけて下さい。

- ・ 「住民の意識を高める」が82人で46%と最も多くなっていました。
- ・ 次いで「次世代を担う子どもたちへの充実した環境教育」が37人で21%、「新エネルギー導入への補助制度の充実」27人(15%)となっています。

回答項目	回答数	%
1. 住民の意識を高める	82	45.5
2. 次世代を担う子どもたちへの充実した環境教育	37	20.6
3. 指導者や技術者の育成	9	5.0
4. 新エネルギー導入への補助制度の充実	27	15.0
5. 公共施設への積極的導入	18	10.0
6. その他	1	0.6
(無回答・その他)	6	3.3
	180	100



《自由回答》

【推進の方法】

- ・ 何よりも住民一人ひとりが意識を高めなければ国・県・市が何をやってもだめだと思う。個々の住民の省エネルギー・新エネルギーのメリットを広報する事が大切だと思う。意識を高めた中で、補助制度の導入や施設への導入をするべきだと思う。決してやってはいけないことは、施設等に導入しても結局それがあまり効果がなかった、ということ。
- ・ 慎重に効果・信頼性・メリット・デメリットを考えて導入してほしい。
- ・ 古い住宅の暑さ、寒さ等住環境に対する昔の人たちの考え方（建築物）等に学ぶ必要があると思う。その上で今の住宅の構造的な検討も省エネになると思う。風力発電などは山の上、川の上等常に風がある所、風車が風の方向に常に向く工夫が必要（例：オランダの風車を見習う必要有）
- ・ ダイオキシシン排出ということで、太古から利用されてきた薪（枯木や落葉等含む）の使用に神経質になりすぎているか。
- ・ 化石燃料より効率は低いが、化石燃料の使いすぎが大気汚染や地球温暖化等の環境破壊を招いているのだから、薪の利用の見直しもあってしかるべきと思う。塵芥の減量化にも連なる。
- ・ 動物（自然放牧による加工品もあり）、植物草目（果樹・公共地）の残渣によるバイオエネルギーとぼかし肥料。廃油処理による BDF。太陽光・風力発電。
- ・ できるだけ化学物質の加えられていない、コストの安い処理しやすい資源ごみを利用。市民への啓発と子供たちへの教育の場でもあり観光施設として利益も上げる。自然と人との共生のみに地球の未来がある。
- ・ 自然の恵みを利用した新エネルギーの活用は重要な課題であり、早急に取り組むべきであると思いますが、投資に見合ったメリットがなければ導入する価値はないと思いますので、当然ではありますが「山梨市新エネルギービジョン策定委員会」立ち上げに際しましては十分に討議し、税金の無駄遣いに終わる事のない様にして頂きたいと思います。但し、公園などに、環境問題の啓発・教育に活用するための小規模な水力、風力発電等の導入は賛成です。
- ・ 官公庁や公共施設等を中心に導入すべきです。
- ・ 断熱、暖房効果の高いペアガラスサッシへの改修等を徐々に行うなどしているが、一人ひとりが真剣に考えていかなければならないと思っている。
- ・ 地球環境の悪化を考えると積極的に取り組むべきと思う。地方自治体が率先して関連する庁舎施設等に取り入れていく中から順次市民に啓蒙をすべきである。（財政問題もあるので非常に困難さはあると思うが）
- ・ 公共施設への積極導入の検討。地域住民への理解を深めるためのエネルギー環境問題の説明会の開催。
- ・ 日本は食糧自給率が 40%で先進国の中でも低いが、現在の食料生産は化石エネルギーと地下水に頼った生産で、いずれは食料不足も考えられるので、持続可能な生産を目指す必要があり、そのためには、山梨市の周辺にある森林資源を活用したバイオマス利用によるエネルギー供給か、森林から堆肥を生産し有機農業を推進するなど持続可能な社会を目指すべきである。なお、森林資源の活用は NPO などによる退職後高齢者の参加を求めるなど、生きがい

との関連をもたせるとよいと考えられる。

【普及啓発・意識改革】

- ・ このアンケートを見てはじめて聞いた雪氷冷熱エネルギー・温度差エネルギーなど、新エネルギーについてのわかりやすい勉強会を開いてくれるとありがたいです。地球温暖化は市民ひとりひとりの意識改革が一番必要なものと思われまますので、ぜひ力を入れて進めてほしいと思います。
- ・ 市民全体の意識が一番大切だと思います。
- ・ 市民への環境問題については行政が指導すること。

【NPOとの連携】

- ・ 地球温暖化防止については、各種 NPO 法人が積極的に取り組んでおり、行政とこれらの連携を図り進めていくことが必要である。
- ・ 新（省）エネルギー導入にあたっては、コストが高くこれに見合う補助制度が必要だと思われる。

【希望する新エネルギー】

- ・ 前述の通り、山梨は太陽光量最多の地域なので大いに利用すべきです。大企業に期待するのもよいですが、各家庭が必要を感じて具体的に取り入れるよう啓もうすべきです。補助金を今年度でやめることなく、今後一層増資すべきです。資源の少ない日本は政府が国をあげて新エネルギーに投資すべきと考えます。
- ・ ペレットストーブを小中学校へ導入し、灯油の削減
- ・ フルーツ公園に新エネルギーを導入し（周りの県等が参考にしたいと思われる位にして）観光の一部とする。
- ・ 導入に当たり先ずは、公共施設等で温泉、市役所、老人ホーム等でチップボイラーを導入したら？またペレットストーブ等の購入に補助金を出したら？剪定くずも処理してほしい。
- ・ 太陽エネルギー
- ・ 無限の太陽熱、風力を最大に利用する事。
- ・ ある大手会社の技術開発研究者と話し合っ、マイクロ水力発電が可能かどうか流量調査等をしたことがある。研究仲間と話し合っコスト面の結論を出し、地域の観光と経済に寄与したいという返事をもらってある。
- ・ ゴミ処理の時出るエネルギーの利用。昔の水利権の見直しをしないと小水力発電はできない。
- ・ 街灯はなるべく太陽電池に切り替えを！ごみ焼却場の熱、交換して利用できたらと思う。
- ・ 新市誕生により、観光資源も多くなり自然を大切にしながら、山頂付近などに風力発電、太陽熱の利用などの施設を建設してください。（かなりの費用もかかると思うが）
- ・ 環境センターの排熱利用により、地域の畑などの温水暖房による促成栽培・熱回収により、年間を通じての健康増進施設（温水プールなど）・ヒートポンプ発電

【ゴミの問題】

- ・ ゴミの収集は有料化にすべきである。それによって今の1/3のごゴミは減量できますし、それが新しいまちづくりにつながります。
- ・ 山梨市をきれいにする運動（クリーン作戦）委員会、育成会が先に立ち推し進めている事について市の方でも少しでも助成金を出して小さい輪を大きくする必要があります。よろしくお願いします。

【新エネルギー・環境問題について】

- ・ 新エネルギーの利用による地球環境浄化が求められる。しかし設置導入等にかかる経費の軽減が望まれる。
- ・ どんなエネルギーでも地球温暖化につながると思う。ダイオキシンなど少なくする研究をし、薪やゴミをエネルギーに変えると良い。

【まちづくりとの関係】

- ・ 市の活性化とエネルギーの省力化は相反するもので難しいと思う。相当大がかりな新エネルギーの活用が必要だと思う。
- ・ 小水力は河川の落差が必要なため牧丘・三富が適地であり合併前、三富村が県の協力で進めたい意向があった。
- ・ 市長を中心に市で進めて安心の町を作ってください。

【その他】

- ・ 今回のアンケートは非常に良いと思います。総合的に考え前向きで対応してください。